

2. 事業を取り巻く社会状況

(1) 道路の状況

①交通混雑の状況

本事業区間の起点側では、西湘バイパス、小田原厚木道路、終点側で箱根新道といった自動車専用道路と接続しています。特に起点側の風祭交差点で集中する国道1号、西湘バイパス、小田原厚木道路の交通量の合計は、本事業区間の国道1号交通容量の2倍にも達しています。さらに、本事業区間の国道1号は上り2車線、下り1車線となっており、起点側において自動車専用道路等からの交通が集中することにより、1車線である下り方向は慢性的な交通混雑が発生しています。

	国道1号 (観測点：箱根町山崎) (上り2車線・下り1車線)		神奈川県内 直轄国道の平均		神奈川県内 国道1号の平均	
	平日	休日	平日	休日	平日	休日
混雑度 (下りの混雑度 ^{注1)})	1.10 (1.94)	1.23 (1.93)	1.08 -	1.07 ^{注4)} -	1.27 -	1.18 ^{注4)} -
混雑時旅行速度 (km/h) (下りの旅行速度 (km/h))	20.6 (15.6 ^{注2)})	23.0 (9.9 ^{注3)})	26.3 -	27.3 -	19.9 -	19.8 -

出典：H11道路交通センサス

注1：H11道路交通センサスの交通容量算出方法を参考に算出

注2：H14.11.26(火)実測調査

注3：H16.5.1(土)実測調査

注4：H11道路交通センサスの平日の混雑度から概算

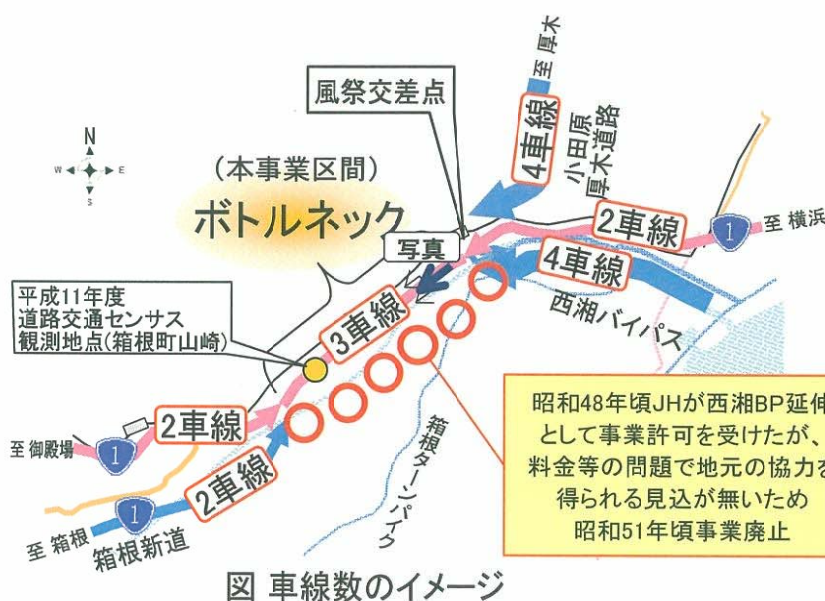


図 車線数のイメージ

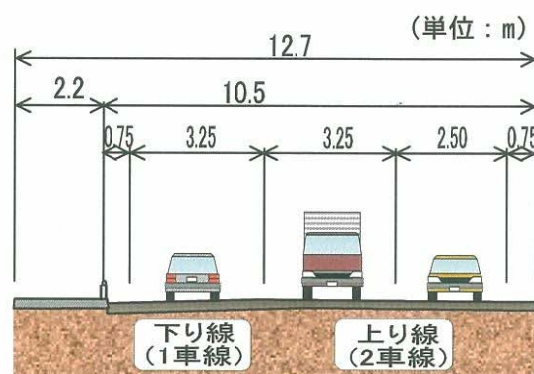


図 国道1号断面図



本事業区間の起終点付近に位置する風祭交差点（西湘バイパス）、山崎IC交差点（箱根新道）は第3次渋滞箇所対策プログラムにより「主要渋滞ポイント」として位置づけられています。

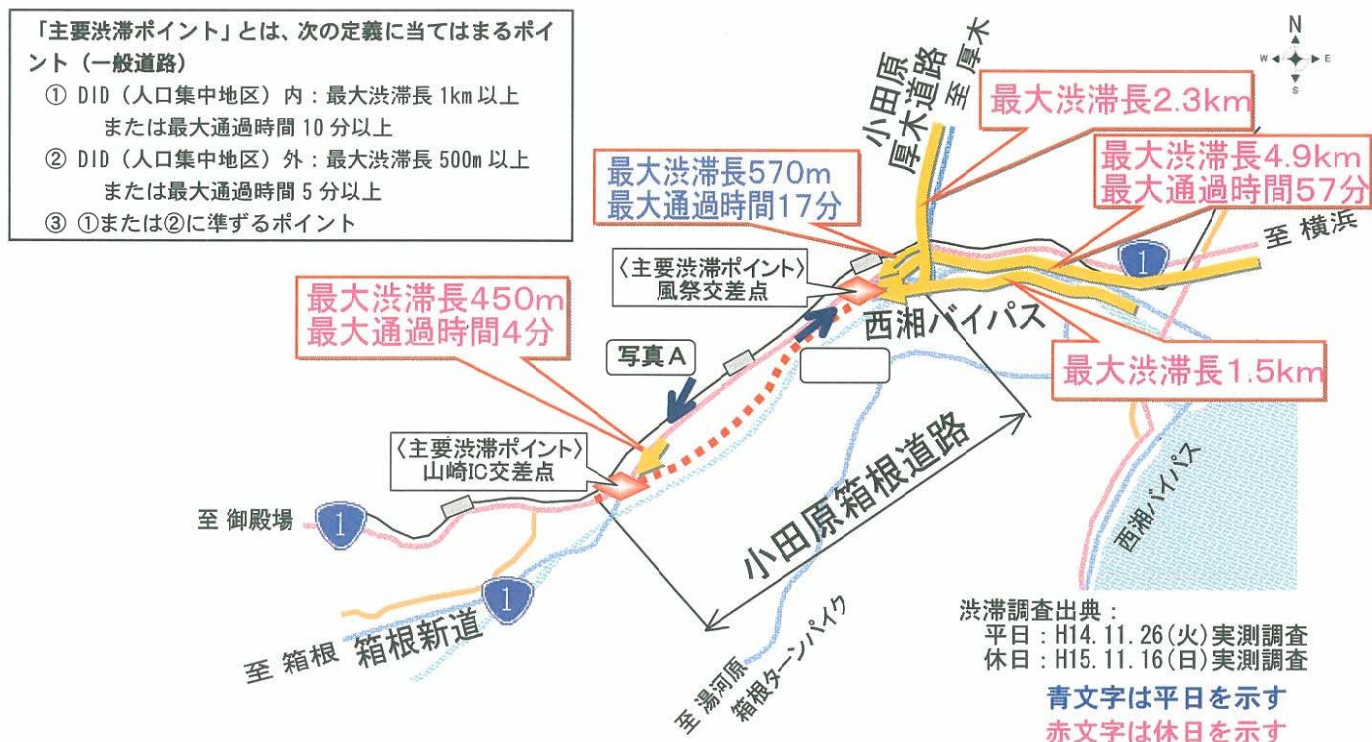


図 渋滞状況



図 山崎IC交差点付近の交通状況
(写真A)



図 風祭交差点付近の交通状況
(写真B)



図 道路環境センサ観測地点位置

②交通の安全

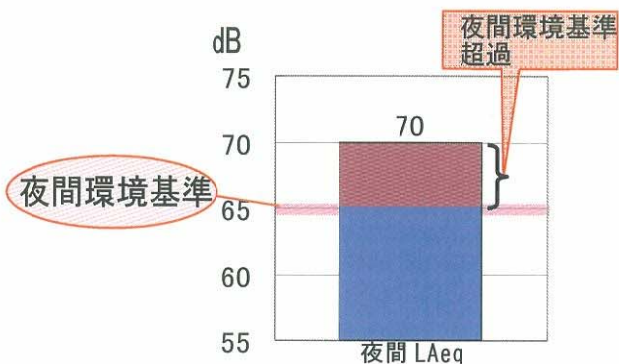
国道1号では歩道が片側のみの整備であるため、歩道利用者の安全の確保が望まれています。



図 入生田駅付近の歩行者環境

③沿道的环境

本事業区間と並行する国道1号は交通量が多いため、騒音レベルが高いが、商店が連担しているため遮音壁等の対策が出来なく、夜間環境基準を超過しています。



平成15年度環境センサより
図 騒音値(小田原市入生田)

(2) 周辺地域の開発状況

		計画・事業名	事業主体	規模	事業期間	概要
周辺開発状況	①	湯本山崎地区住宅市街地整備総合支援事業	箱根町	約 21.3ha 推計 1650 人	H12 ～ H19	小田原箱根道路整備に合わせ、区域内道路、連絡橋、公園、消防詰所、集会所等の公共施設の整備、住宅開発等、地区全体を統合的かつ一体的に再整備を行う。
	②	早川水辺プラザ整備計画	神奈川県等	約 6.0ha	H10 ～ H19	小田原箱根道路の整備が進行中であるため、周辺への影響や、自然の早期保全のためにも道路整備と合わせて、水辺プラザの整備を行う。

小田原箱根道路周辺地域では、小田原箱根まちづくり基本計画に位置づけられている「湯本山崎地区住宅市街地整備総合支援事業」や「早川水辺プラザ整備計画」の事業等が小田原箱根道路と合わせた一体的な整備として進められています。



図 周辺地域の開発状況

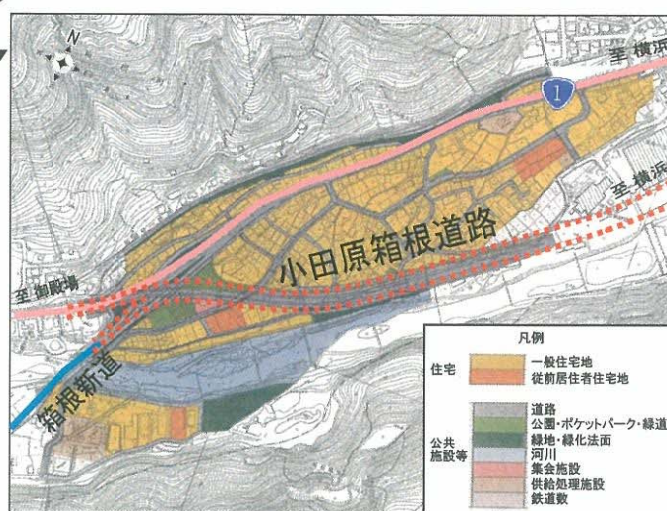


図 ①湯本山崎地区住宅市街地整備総合支援事業



図 ②早川水辺プラザ整備計画イメージ図／写真

(3) 周辺の観光の状況

小田原箱根道路周辺地域では、多くの観光スポットが分布しています。

当該路線の西側に位置する箱根町は「箱根湯本」、「元箱根」等、全国随一の入湯客数を誇る温泉地であり、また、当該路線の東側に位置する小田原市は「小田原城」、「一夜城歴史公園」等、歴史を身近に感じる史跡が多く、特に東京、横浜方面等からの観光客に愛されています。

周辺の観光地への主要なアクセス道路である国道1号は、日常的な交通混雑に加え、観光地特有の休日の交通混雑も顕著になっています。

また、近年の入湯客数が増加傾向にあることから、周辺の観光利用も増加することが想定されます。

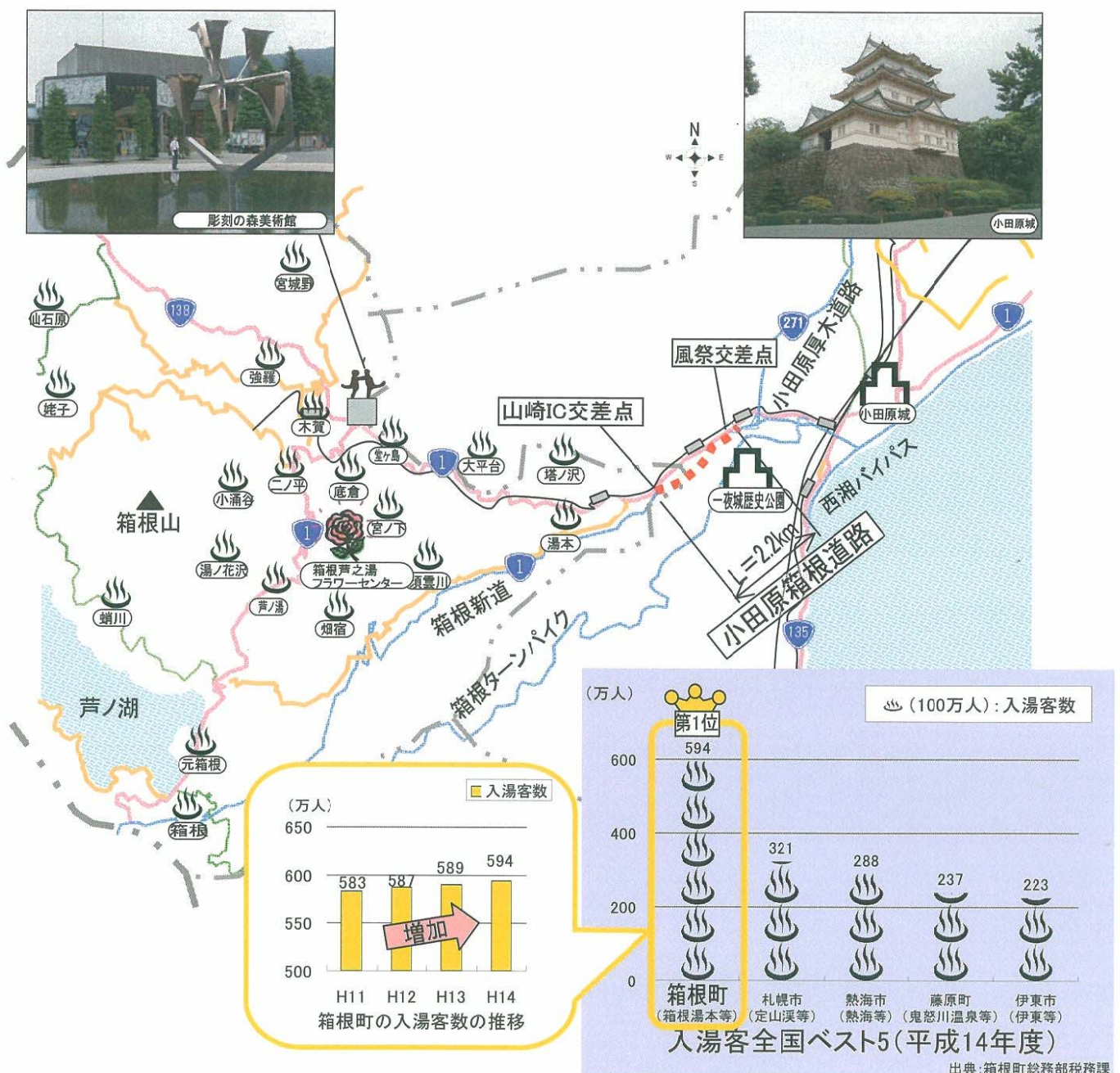


図 小田原箱根道路周辺の観光地の分布